

相模大野図書館 ヤングアダルト向け読書案内

YAD

2026.3

Vol.40

職場体験に来てくれた
中学生の
おすすめ本

毎号恒例
図書館員
おすすめ本

読んでみない？
J.D.サリンジャー

新着情報
新しい本を
CHECK!



あみだ^{ぽん}de本

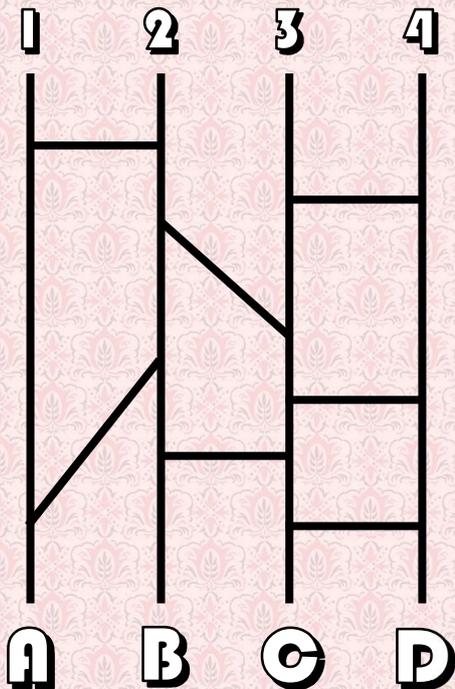
どんな本読む？ あみだくじで決めよう！

ぽん

あみだ de 本

どんな本を読もうか迷っているあなた！

好きな数字からスタートしてね。



1 のあなたは… ファンタジー小説

F YA933 『サマルカンドの秘宝(バーティミアス 1)』

ジョナサン・ストラウド／作

金原 瑞人・松山 美保／訳 理論社

泣き虫だけど生意気な見習い魔術師ナサニエル。あることがきっかけで、妖霊“バーティミアス”を召喚し、<サマルカンドの秘宝>を手に入れようとしますが……。



B のあなたは… ミステリー小説

F 『謎解きはディナーのあとで』 東川 篤哉／著 小学館

「この程度の真相がお判りにならないとは、お嬢様はアホでいらっしやいますか。」 お嬢様刑事 宝生麗子の執事兼運転手 影山は、毒舌ながらも名推理で事件を解決していきます。



C のあなたは… ホラー小説

F 『夜市』 恒川 光太郎／著 角川書店

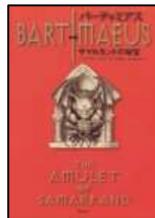
この世ならざる者が集う“夜市”。そこに自ら足を踏み入れた大学生のいずみと裕司を待ち受ける運命とは……。胸の奥がひんやりと冷たくなるような、独特の雰囲気を持つホラー小説です。



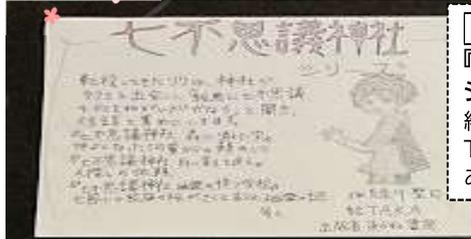
D のあなたは… 青春小説

F 『チア男子!!』 朝井 リョウ／著 集英社

男子チアリーディング部を舞台とする、熱くて爽やかな物語です。悩み、衝突しながら友情を育む男子たち……これぞ青春！



職場体験に来てくれた 中学生のおすすめ本

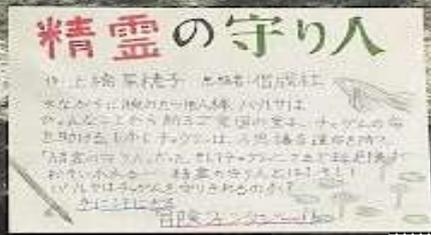


J913
『七不思議神社』
シリーズ
緑川 聖司/作
TAKA/絵
あかね書房

E/か
『トドにおとどけ』
大塚 健太/作
かのう かりん/絵
パイインターナショナル



726.6
『あるかしら書店』
ヨシタケ シンスケ/著
ポプラ社

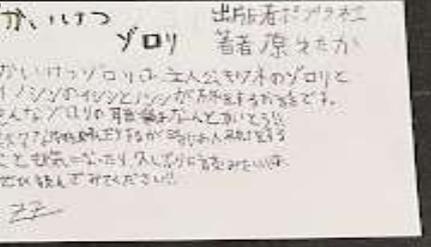
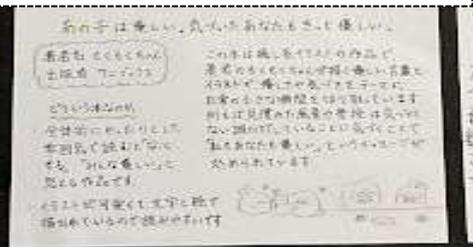
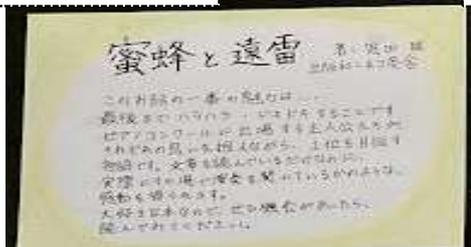


J913
『精霊の守り人』
上橋 菜穂子/作
二木 真希子/絵
偕成社

YA913
『蜜蜂と遠雷』
恩田 陸/著 幻冬舎

726.5
『あの子は優しい。気づいたあなたもきっと優しい。』もくもくちゃん/著 ワニブックス

J913
『かいけつゾロリ』シリーズ
原 ゆたか/作・絵 ポプラ社



J.D.サリンジャー (1919-2010)

- 小説家
- 裕福なユダヤ系家庭に育つ。
- 従軍経験から PTSD を発症する
- 作風：戦争体験を反映。偽善的な社会への反抗心や不信感を露わにした繊細な心情描写が特徴。
- 代表作：“The Catcher in the Rye” 1951 年
邦題『キャッチャー・イン・ザ・ライ』『ライ麦畑でつかまえて』『危険な年齢』『ライ麦畑の捕手』



933.7 『ライ麦畑でつかまえて』

J.D.サリンジャー／著

野崎 孝／訳 白水社

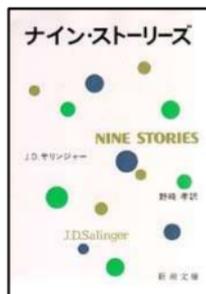
殺人者の愛読書として取り上げられ、禁書となった問題作。理想と現実のギャップにあえぐ若者を描き、思春期に揺れ動く気持ちを、みごとに作品に昇華させていることから、圧倒的な支持を得、多くの作家に影響を与えている一冊。

B933 『ナイン・ストーリーズ』

J.D.サリンジャー／著

野崎 孝／訳 新潮社

自選の9つの短編集。「バナナフィッシュにうってつけの日」では、社会に馴染むことができない帰還兵が登場し、不穏な空気が流れたまま話が進みます。内面の繊細な描写と現実とフィクションの境界のあいまいさなど、サリンジャーの作風が色濃くでた作品。初めて読むならこの一冊からがおすすめ。



図書館員おすすめ本

図書館員 ○ 視野の広がり度 ★★★★★



F

『線は、僕を描く』
砥上 裕将 / 著 講談社

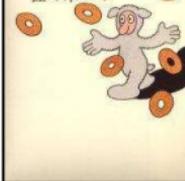


事故で両親を亡くし、生きる気力を失った霜介^{そうすけ}。けれど周りに助けられ、大学に入学し、友だちに誘われたバイト先で水墨画の巨匠、篠田湖山^{しのだこざん}と出会います。水墨画を通して、それまで色の無かった霜介の世界がどんどんと色づいていきます。

新しい何かを見つけたい人におすすめです。

相模大野図書館では、映像化されたDVDも所蔵しています。

ふしぎな図書館
村上春樹
佐々木マキ



図書館員 ○ 村上ワールド ★★★★★

F

『ふしぎな図書館』
村上 春樹 / 文
佐々木 マキ / 絵 講談社



図書館の地下にある牢屋にとじこめられてしまった「ぼく」は、羊男と脱出をはかりますが……。佐々木マキさんのイラストが不思議な世界をひきたてる、絵本のような短篇です。あっという間に読めますが、村上春樹ワールドを堪能できる1冊です。読んだ後、無性にドーナッツが食べたくなるのはなぜだろう？

新着情報コーナー



決められた言葉しか話せないロボットと、繭^{まゆ}から出たばかりの小さな蛾^が。

文明と自然、硬さと柔らかさという対照的な存在が出会い、互いに惹かれていきます。伝えたい思いが伝わらないロボットのもどかしさと、儚^{はかな}い蛾のまっすぐさが胸に響きます。

YA989 『ロボットと蛾^が』 ヴィータウテ・ジリンスカイト／作
スタシス・エイドリゲーヴィチユス／絵 櫻井 映子／訳
green seed books



名古屋城のお堀にひっそりと棲む巨大魚アリゲーターガー。夜の水辺に集まったのは、居場所を失い、言葉にできない孤独を抱えた三人の若者たち。

〈悪者〉として扱われる魚と心を通わせながら、それぞれが少しずつ前に進んでいくお話です。

YA913 『アリゲーターガーは、月を見る』
山本 悦子／著 理論社



生き物の仕組みをもっと自由に、もっと面白く知りたい人にぴったりな1冊。

「花粉症を治すお米」や「種なしスイカに種がない理由」など、博士とキノコ助手が語る42の話題はどれも発見の連続です。

生物の奥深さに思わず引き込まれます。

YA460 『はみだし生物学 博士とキノコ助手の
愉快的研究の日々』
『はみだし生物学』制作委員会／著 化学同人